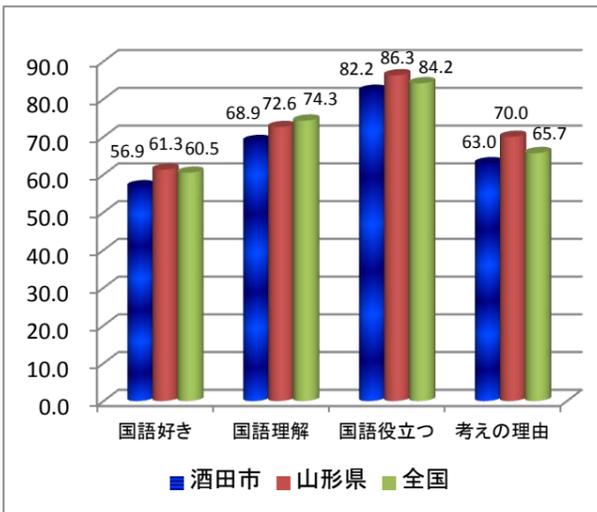


(1) 教科に関する質問

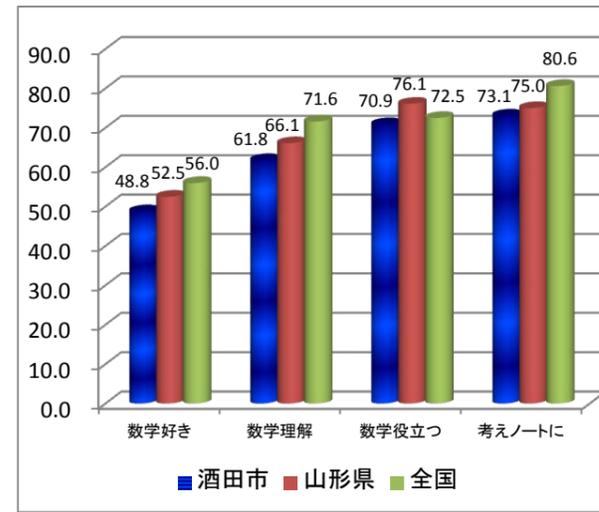
以下の質問に肯定的な回答(そう思う、ややそう思う)をした児童・生徒の割合%

- ①「国語の勉強は好きですか」
- ②「国語の授業内容はよく分かりますか」
- ③「国語で学習したことは将来役に立つと思いますか」
- ④「国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由がわかるように気をつけていますか」



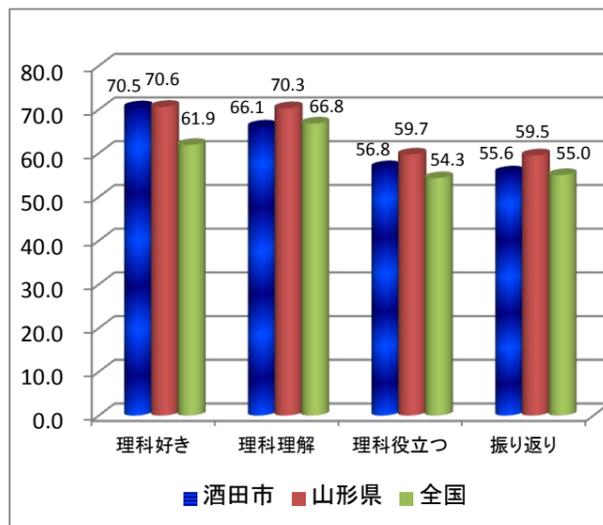
以下の質問に肯定的な回答(そう思う、ややそう思う)をした児童・生徒の割合%

- ①「数学の勉強は好きですか」
- ②「数学の授業内容はよく分かりますか」
- ③「数学で学習したことは将来役に立つと思いますか」
- ④「数学の授業で問題の解き方や考え方がわかるようにノートに書いていますか」



以下の質問に肯定的な回答(そう思う、ややそう思う)をした児童・生徒の割合%

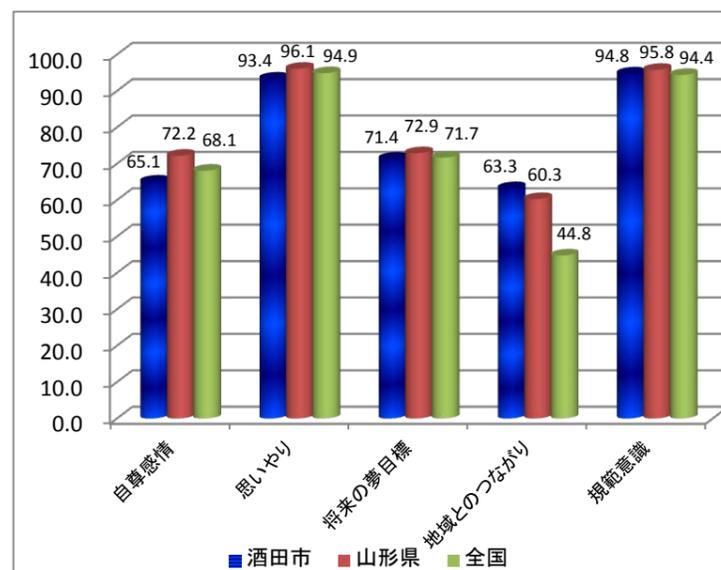
- ①「理科の勉強は好きですか」
- ②「理科の授業内容はよく分かりますか」
- ③「理科で学習したことは将来役に立つと思いますか」
- ④「理科の授業で観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えていますか」



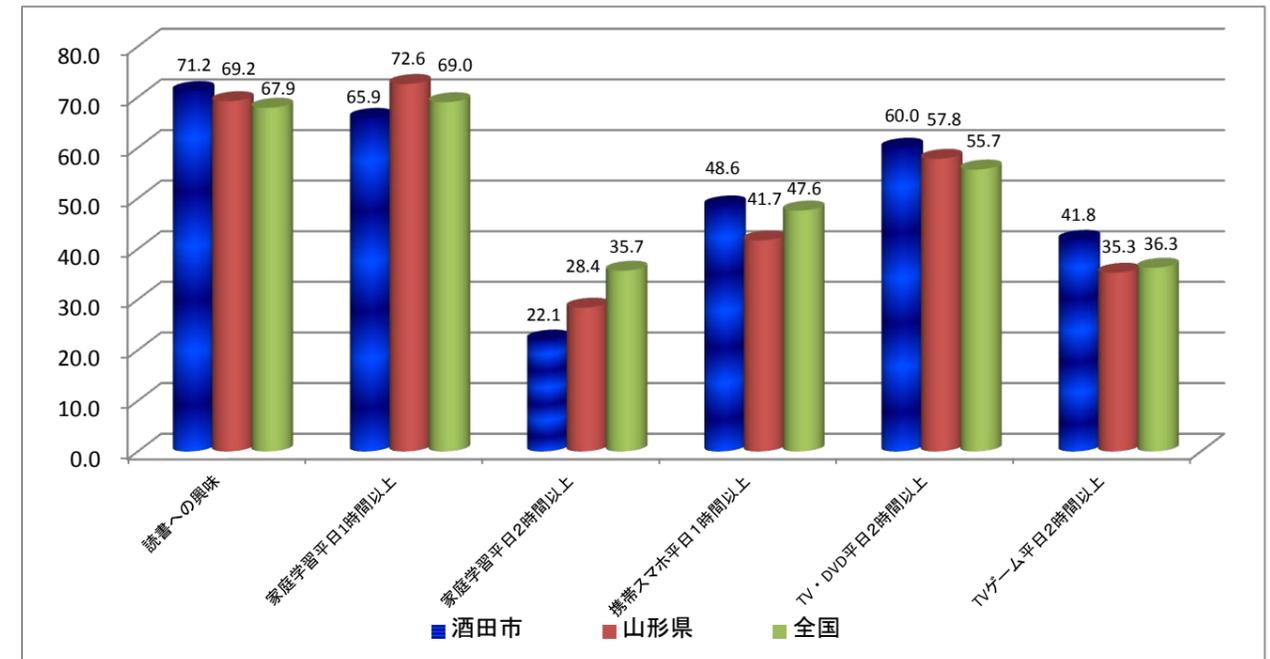
(2) 児童・生徒自身に関する質問

以下の質問に肯定的な回答(そう思う、そうしている)をした児童・生徒の割合%

- ①自尊感情 「自分には、よいところがあると思いますか」
- ②思いやり 「人の気持ちがわかる人間になりたいと思いますか」
- ③将来の夢 「将来の夢や目標を持っていますか」
- ④地域とのつながり 「今住んでいる地域の行事に参加していますか」
- ⑤規範意識 「学校のきまりを守っていますか」



(3) 家庭生活に関わる質問 子どもたちの実態(当てはまる、やや当てはまる、児童・生徒の割合%)



教科の状況、児童・生徒自身、家庭生活に関わるものの状況調査の考察 ○よさ ▲課題

○「地域とのつながり」の項目は今年度も、18.5ポイント全国平均を上回り、学校と地域の相互連携が大切に進められていることが伺える。「規範意識」については、全国平均及び昨年度のポイントを上回り、95%の生徒が良好な回答をしている。学校と家庭が連携して集団や社会生活のルールを大切にする意識を育てている成果が表れている。

○理科では、「好き」「役立つ」「考え振り返り」の項目が全国平均を上回っている。今後も、学習と生活との関連を大切にしながら学習意欲の向上を図るとともに、学ぶ意義と楽しさを実感させていきたい。

○「読書への興味」や読書の時間は、今年度も全国・県平均を上回り、学校や家庭・地域が朝読書や読み聞かせなどへの取組みを継続してきた成果が表れている。

▲昨年度との比較で、国語の「好き」「理解」の項目については、4ポイント程度上昇しており、全国平均との差も縮まっているが、国語及び数学の「好き」「理解」「役立つ」「考えの理由」「考えノートに」の項目は、全国平均を下回っている。

▲「自尊感情」「思いやり」の項目については、全国・県平均を下回っている。学校と家庭が連携して心の教育を充実し、自他を大切にする気持ちを育てていきたい。

▲平日に、「TVゲーム」や「携帯電話・スマホ」を使用している時間が全国・県平均を上回り、「家庭学習」にかける時間が全国・県平均を下回っている。学校・家庭・PTAが連携して、家庭での時間の使い方を改善するとともに、家庭学習時間を増やしていく必要がある。

本市としての今後の対策

◎生活と学習の向上を一体としてとらえる視点を大切に、良好な人間関係のもとにいきいきと学び合い、お互いに表現し合える学級づくりを推進するため、学級経営に関する講話や研修会を実施するとともに、各校の研修会への支援を行う。

◎標準学力検査及び全国・学力学習状況調査の結果を分析し、改善すべき課題を明確にするとともに指導のあり方を検討し、指導主事の各校への訪問を通して、校内授業研究会の充実と授業改善に向けた取組みへの支援を行う。

◎「小中授業力向上研修会」を実施し、酒田市教育研究所との連携を図りながら、小中学校の校種を越えて「思考力」「知識・技能を活用する力」の育成や「言語活動」の充実を意図した授業づくりに取り組み、指導技術の向上と授業改善を進めるとともに、研修の成果を拡充していく。

◎小学校から大切にしている読書活動を継続して充実し、言語活動の基盤を培い、思考力・表現力を育成するとともに、授業での「調べ学習」を充実するため、利用しやすい図書室の環境整備を進める。

◎家庭学習のあり方と携帯電話、スマホ、ゲームの利用のあり方について、小中連携した学校と家庭の取組みを推奨していく。